

【神奈川県大磯町】

校務 DX 計画

1. GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリストによる自己点検結果

「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」(令和 5 年度)に基づく自己点検結果(確定値)より、本町の達成状況の得点は以下の通りである。

	本町達成状況得点	神奈川県全域平均得点
学校	170.3	352.5
学校設置者	130	241.9

※満点 学校 1020 点、学校設置者 540 点

上記から、学校及び学校設置者のいずれの調査でも、神奈川県平均を下回っている。

しかし、令和 6 年 1 月から校務系ネットワークの見直しにより、校務ファイルサーバの集約化及び各種クラウドサービスを整備したことにより、校務 DX 化の推進を図っている。

文部科学省の示す「教育 DX に係る当面の KPI」への対応状況は、下記の通りである。

2. 「教育 DX に係る当面の KPI」への対応状況および対策

① FAX でのやり取り・押印を原則廃止した学校について

文部科学省の示す KPI では、令和 7 年度にすべての学校が対応完了目標となっている。

現在、本町では校務ネットワークの見直しを図り、自治体間共有フォルダを整備したことで、学校と町教育委員会間での FAX 廃止を実施している。一方で、地域業者への FAX 対応や押印については、町の規定改正等が発生するため自治体として対応を進めていく。

健康に関する書類や進路調査等、保護者とのやり取りの記録を確実にするものについては一部押印を求めている文書も存在しているが、保護者とのやり取りにおいては、配付物をメール配信にするなど、校務 DX 化を進めている。

② 校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業を一掃した学校について

文部科学省の示す KPI では、令和 7 年度にすべての学校が対応完了目標となっている。

次期校務支援システムの導入時に、手入力作業を一掃できるシステム構成を検討する。

③ クラウド環境を活用した校務 DX を積極的に推進している学校について

文部科学省の示す KPI では、令和 8 年度にすべての学校が対応完了目標となっている。

現在、グループウェアによって職員間の情報共有等を実施している。加えて、Google Workspace を活用して業務効率化を図っていけるよう、検討していく。

保護者からの出欠席や遅刻・早退等の連絡については、学習 e ポータル内の保護者連絡機能を利用した入力を求めている。また、学校から配付物においても同様のものでの配信が中心となるよう、推し進めている。

職員会議等、教員間および町教育委員会と学校のやり取りについては、すべての学校で共有サーバーやグループウェア等を活用し、紙でのやり取りを極力減らすようにしている。

④ 次世代の校務システムの導入に向けた検討

次期校務環境リプレイスにおいて、校務系・学習系ネットワークの統合と、次世代の校務支援システムの整備を検討していく。